

匹見地域協議会（第4回）会議次第

日時 平成29年12月26日（火）9：30～

場所 匹見タウンホール 集会ホール

出席者（委員） 藤谷 一剣・齋藤 惟人・大谷 文男・西川 友史・大久保純子
溝田 洋子・村上 巴・河本 亮・齋藤 光・齋藤 幸士
（益田市） 山本市長
山口支所長・藤井住民福祉課長・藤井地域づくり推進課長・露口建設課長
事務局（桐木・大谷）

1 開会

2 会長あいさつ

3 市長あいさつ

4 【意見交換】

（1）市長との意見交換

5 【協議事項】

（1）新市建設計画について＜資料 1＞

6 【報告事項】

（1）旧割元庄屋美濃地屋敷有形文化財登録（建物）について＜資料 2＞

（2）平成30年度予算状況について＜資料 3＞

7 その他

次回開催 平成 年 月 日（ ） 時 分～

| | |
|------|--|
| 主催者名 | 匹見総合支所住民福祉課 |
| 会議名 | 平成 29 年度 第 4 回 匹見地域協議会 |
| 開催日時 | 平 29 年 12 月 26 日（火） 9 時 30 分～12 時 50 分 |
| 開催場所 | 益田市匹見タウンホール 集会ホール |
| 出席者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 匹見地域協議会委員（6 名） ・ 市長 ・ 匹見総合支所：山口支所長 住民福祉課：藤井課長、桐木補佐、大谷 地域づくり推進課：藤井課長 建設課：露口課長 |

【会長あいさつ】

最近のテレビ報道等を見ていると、組織とはどうあるべきかと思うことが多々ある。市においては、市民のためになるような体制を作っていただきたい。

【市長あいさつ】

特定の議題は設けていないので、自由にお話できればと思っている。
ご意見、ご質問に対してそれにお答えする形としたい。

【市長との意見交換】

(1) 支所長から支所機能の見直しについての説明

○支所機能について、前回の提案から大きく変わった点はない。

○本庁と距離がある地理的条件もあり、災害時の管理体制が十分かどうかについて現在検討をしている。

●前回の地域協議会での提案どおりか。

▷ 現時点では、来年 4 月の機構改革にむけて大きな変化はおこらない。管理体制については、管理職 1 名体制については調整している。

●管理者 1 名とはどういうことか。

▷ 支所機能を本庁の部局の直轄の形となる

● 3 分室の分室長の役職は何か。

▷ 課長補佐のポジションを想定。

● 4 8 8 号の改良が合併時の大きな約束事だったが、十数年経っているのに全然進んでないという

印象がある。色々な面から県に十分働きかけていただきたい。

▷488号をはじめとするグリーンライン90については、毎年県に重点要望としてあげており、合併の際の大きな課題であったと認識している。

●合併時に携わった県の部課長、市役所の職員も退職しており、当時を知る人が少なくなってきた。

▷グリーンライン90については、期成同盟会の方でも要望に行っている。しっかり実現していきたい。

●総合支所の体を成していない。今後職員も気を引き締めて組織を動かして行っていただきたい。

▷地域の方々に十分にご満足いただけるような結果には至っていない実態もある。本庁との強い組織力の中で地域政策が進む形になっていければよいと思う。

●合併特例債の延長について新聞に出ていたが、情報はるか。

▷現在、平成31年度が期限となっている。現在、延長の検討があるという段階である。

●住民は行政サービスが落ちるといふ不安は持っていると思う。来年度支所機能を再編するのであれば、住民説明は考えてるか。

▷一般の住民に対し、直接説明は考えていない。支所を残し、その機能をいかに限られた財源、体制の中で評価するかという見地から今回の見直しの案をつくっている。

●本庁と支所との情報共有を密にやっていただきたい。

▷より効率的に進めるために支所機能の強化を行う。

●石見空港については、維持が難しい中で一生懸命頑張っておられるが、多方面での見直しが必要かと思うが。

▷東京便の2往復運航の維持が決定し安心している。これまで利用拡大の主体は利用市町であったが、9月に利用対策室が設けられ、県の職員が3人益田に配置され、県の責任が明確になってきたことが、大きな変化であった。市として判断できる施策で通常の旅客以外の利用ということも視野に入れながら利用拡大を進めていきたい。

【協議事項】

(1) 新市建設計画について

○新市建設計画の中には、ハード整備がかなりある。全体的な公共施設の管理計画があり、ここ30年において、30パーセントの既存施設の減らしていくという計画となっている。

新たに施設をつくるという計画は、実現性が薄い状況があり、既存施設の活用しながらその機能を果たしていく方向で整理させていただいている。そういった視点で全体の課題をご検討いただきたい。

< 匹見タウンホール改修事業 >

○現在、支所の庁舎と2階部分については、耐震診断を行い、工事にむけて調整しているが、タウンホール側については、建て替え等も検討していたため耐震診断をしていない。今後、耐震診断し、それに併せ改修するという事で協議をすすめていきたい。

< 匹見リフレッシュ構想に基づく温泉周辺整備 >

○交流の里事業については、県の中山間地域総合整備事業計画に計上したが、要望どおりに配分されないということで、昨年度県に対し、事業の中止を報告している。

グラウンドゴルフ場の建設については、匹見中央公園のグラウンドゴルフ場の改修計画により、改修後の利用状況を検証し、検討を進める。健康センターの改修については、計画的に維持、補修、改修を行う。

< 匹見峡施設整備事業 >

○市の観光資源として匹見峡の位置づけを明確にし、整備の在り方について検討していく。

< 幹線市道の整備 >

○現状は、市道内谷線の改良を行っている。目標として平成32年度の完了を目指している。

今後は、改良は内谷線を継続して行い、その他の市道については、優先度を考慮しながら道路管理を行いたい。

< 除雪機械の整備 >

○平成28年度において1台整備し、現在7台を所有している。今後、業者、島根県所有の機械等もあり、適正な除雪体制を構築したい。現在匹見上地区4台、澄川地区1台、石谷地区1台、道川地区1台を保管している。

≪ 質疑・意見 ≫

●特産加工施設整備事業とあるのは何か。

▷農協の加工場に関するものであるが、事業実施と協議、調整を十分行う様C査定となっている。

●匹見わさびの振興を掲げているが、匹見わさびの復活や再生という中で、支所と農協、生産者がしっかり連携をとってやっていってほしい。

▷ わさび振興をどうやっていくかというところを益田市全体の中でしっかりした議論が必要になってくると思う。農協、生産者とも同じ方向をむける様努力していきたい。

●関東のパルシステムの件についてはどうなっているか。

▷ 現在進行中である。自然薯わさびという製品を商品化し、通販のような形で販売しておられる。新たに花芽のわさび漬けを商品化したものもあり、パルシステムの中で販売する動きも始まっている。

●わさびについて加工施設は絶対必要と思う。新市建設計画も取捨選択をして廃止は廃止ということで重点的に絞ってやっていくということが必要。財産区については、支所が事業を立案し、その財源に充てるといった目的がないと処分できない。

●財産区は、その時代、時代の者が恩恵をうけるようにできるだけ早く匹見の事業に充てようということで進んでいる。

●歴史資料館の建設予定地の用地は買収されているのでその活用を早く検討する必要があると思う。また、匹見中央公園のグラウンドゴルフ場の改修予算はどうなったか。

▷補助金のカットがあり、H28年度は行えなかった。

●市道内谷線の進捗状況はどうなっているか。

▷H28年度に改良する予定であったが、国の補助金が大幅にカットされたこと等により4年先延ばしとなり、32年度までの目標で継続している。

旧割元庄屋美濃地屋敷の有形文化財登録について 報告

○11月17日に開催された国の文化審議会において、美濃地屋敷の主奥と米蔵の2件について有形文化財への登録が答申された。これにより、茅葺き屋根の葺き替えに向け国の補助金が受けられる可能性ができた。

平成30年度予算状況について 報告

○平成29年度までは、前年度予算額にシーリング枠が設定され、そのシーリング枠の中で予算要求を行っていたが、平成30年度は平成29年度と同ベースの要求をして、その後査定が行われることとなった。また、これまでは総合支所それぞれの課から予算要求を行っていたが、平成30年度からは本庁各課の事業に、該当する支所の事業の予算を合わせて要求する方法となった。

〈質疑・意見〉

- 総合支所の要求総予算が平成29年度より少なくなっている。少なすぎるのではないかと。
 - ▷予算総額については、各年度の事業の内容によって増減が生じるものであり、必要な経費については、予算要求を行っているのご理解いただきたい。
- 集落支援・戦略プラン推進事業費について予算要求されていない。連絡調整会議はどうするのか。
 - ▷今年度においてまとめを行い区切りをつけることとしている。課題については今後も関係機関や地域自治組織と連携しながら解決に向けた取り組みを行うこととしているのご理解いただきたい。
- コミュニティ助成事業補助金は採択されるのか。
 - ▷地方自治総合センターのコミュニティ助成事業の予算枠もあり、益田市として4件の申請について優先順位をつけなければならない状況もある中で、必要性を説明し申請をおこなっているため、現段階採択の可否については明言できないことをご理解いただきたい。
- 遠距離通所補助金については対象者も少数であり、金額も少額であるので継続するべきではないのか。
 - ▷遠距離通所補助金については、澄川児童館廃止の際に10年間の年限を設けた要綱となっており、平成29年度でこの事業が終了となった。
- わさび振興に関し、匹見地域活性化基金を充当して事業を実施してきたが、きちんと検証し、その効果について報告すべき。
 - ▷これまでの事業内容等について報告する。

【その他】

(1) 「(株) ひきみ」について

○(株)ひきみの経営状況についてはこれまでも経営改善が進められており、経費節減に取り組まれているが依然厳しい経営状況となっている。市としても(株)ひきみに対し、利用者の増加を図り収益を上げる取り組み及び経営改善を求めている。

〈質疑・意見〉

- 代表者が変わったが、第3セクターという趣旨の温泉であることを理解してもらった中で経営してもらいたい。

▷営業成績が好転すればという思いの中から取り組みをされたことではあるが、誤解を招きかねない表現でホームページに広告が掲載されていた。関連の広告については訂正していただくよう対応をお願いしている。

●増資や社長が交代したことについて地域協議会に報告がない。

▷（株）ひきみの内部留保の資金が非常に厳しい状況になっている中、新たな事業を展開し、危機を乗り切るための手段として、9月に臨時株主総会が開かれ60株増資が承認された。

●取捨選択せず、温泉のことなど、匹見の大きな事業については地域協議会に報告してほしい。

▷地域の声については取締役会でも伝えており、心配・誤解等が広まらないように、また、新たに起こらないように気を付けながら会社運営に関わっていきたい。